

令和3年第4回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年4月21日（水曜日）			開会	9:58	会議場所	別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	11:46				
委員の出欠	3 番	田村 秀男	出席	4 番	小椋 哲也	出席	8 番	松壽 孝雄	出席
	12 番	松原 政勝	出席	13 番	中村忠士	出席			
出席説明員	産業 振興部	産業振興部長		産業振興部次長兼水産みどり課長		農政課長		商工観光課長	
		門脇 芳則	出席	佐々木栄典	出席	小野 武史	出席	田畑 直樹	出席
		農政課主幹		商工観光課主幹		水産みどり主幹		商工観光課主査	
		上田 健一	出席	岩口 裕昭	出席	大坂 恒夫	出席	武田 妙子	出席
		農政課主査		農政課主査		水産みどり課主査			
		武田 文吉	出席	寺澤 淳司	出席	古里 達也	出席		
	建設 水道部	建設水道部長		管理課長		事業課長		建築住宅課長	
		伊藤 一成	出席	松田 勝広	出席	外石 昭博	出席	川畑 智明	出席
		上下水道課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課技術主幹	
		谷村 将志	出席	袴田 充輝	出席	前道 陽司	出席	山岸 英一	出席
		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		管理課主査	
		廣島 静治	出席	佐竹 和仁	出席	福原 仁史	出席	木村 洋平	出席
	農業 委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査			
		内山 宏	出席	たも木 直人	出席	山下 真弘	出席		
委員外の出席						合計	名		
事務局職員	主幹	入田 浩明				合計	1名		
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名	合計	0名			

会議に付した事件及び会議結果など		
発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。	
委員長 8番 松壽	09:58 開会	
	出席委員5名、会期1日	
委員長 8番 松壽	挨拶	
産業振興部長 門脇	【産業振興部所管事務調査】	
委員長 8番 松壽	挨拶及び人事異動に伴う職員紹介、概要説明	
委員長 8番 松壽	議事1 所管事務調査について	
農政課長 小野	(1) 別海町酪農研修牧場の在り方について（資料により説明）	
委員長 8番 松壽	質疑	
委員 4番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に3つの改善内容があるが、取り組みの状況は。 ・作業部門の一部コントラについては、既に実施している。 研修内容の見直しについては、内容の見直しに着手している。 研修生については、コロナの影響により動くことができなかったため、非常に困難な状況にあるが、7月以降に3組程度の研修生が入る見込みがある。 ・昨年はコロナ禍で新規の研修生の確保には苦慮していると思うが、イベント等の中止も含めて、全国どこでも同じような状況なのか。 ・第2牧場を廃止して、第1に集約するということは、フリーストールがなくなることだと思うが、フリーストールの技術研修等はどうやって補うのか。 	
委員 4番 小椋		

令和3年第4回産業建設常任委員会 要点記録

農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・研修生の確保については、通常、東京や大阪等で開催されている新農業人フェアに足を運び、直接希望者と面談するという形になるが、昨年はコロナ禍の影響で行くことはできなかった。また、オンライン等で面談等は行ったが、研修生の確保には結びつかなかった。 コロナ禍の影響は、全国的にそういう流れだったと思う。 ・第2牧場廃止に伴う、今後のフリーストール技術の研鑽については、研修生の多くはつなぎの牛舎への就農となるが、希望がある場合については、フリーストールを実践している農家へ研修に行かせるなど、希望に応じて対策を講じていきたいと考えている。
委員	4番 小椋	
農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・外部農家への研修ということだったが、研修内容の拡大ということか。 ・そのとおり。 放牧酪農の研修も増やしているが、希望する方には3年目の実習の中で派遣をするなど考えていきたい。
委員	4番 小椋	
農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を見ていくと、縮小方向に向かうのが見えてくるが、縮小した後に設備更新等を考えた際に、牧場の黒字化を目指さなければならないと思う。 株主総会等で、中長期的な計画はできているか。
委員	4番 小椋	
農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・規模縮小するということは、生産量が落ちるためその分の収入はどうするかという問題はでてくる。また、設備更新あるいは規模を拡大するかどうかということについても議論はあるが、現状は規模縮小が決まった段階で、第1牧場だけでしっかりと研修を行える体制を構築することを第1に考え、経営健全化を図るということを重点に町とJAで協議している。
委員	4番 小椋	
農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、現実的な新規就農のモデルを確保して、その後に付加機能を付加するか検討していくという認識でいいか。 ・そのとおり
委員	3番 田村	
農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・公の施設を管理する中で、収支予算は指定管理の計画書で出てくると思うが、指定管理料は無料ということだが、それに対して町とJAから資金援助をもらうという考え方について教えてほしい。
委員	3番 田村	
農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・町の立場としては、指定管理をしているという立場と、株主としての立場の2つがある。通常であれば、指定管理料の上乗せということになる。 現在協議している内容の中では、町が支払う場合については、指定管理料として支払う方向で考えている。 農協の負担に関しては、株主という立場で、過去において研修牧場で赤字が出た場合は、町、JA及びそれぞれが負担割合に応じ負担するという合意がなされている経緯もある。 そういったことから、町とJAそれぞれの立場の中で資金を援助するというので、現在協議を進めている状況である。
委員	3番 田村	
農政課長	小野	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう考え方であれば、もともと研修牧場という施設自体が、公の施設としての位置づけを見直すべきではないか。 ・公の施設であるということに間違いはないと考えている。 一方で、酪農の研修施設ということで、研修生が最終的に就農して、JA組合員になっていくという流れがある。 町における公の施設と同等に考えるべきなのか、今後、施設の方向性についてどう考えていくのかということに関しては、この後の議論の中で関係機関と議論していきたいと考えている。
委員	3番 田村	

令和3年第4回産業建設常任委員会 要点記録

委員 3番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・早急にその位置づけを検証して進めていただければと思う。 ・公の施設として位置付けた経緯としましては、農家の後継ぎが研修牧場で研修してから就農するということも可能ということで、新規就農の目的だけで作った施設ではないという中で、公の施設として位置付けをした。 それも踏まえて、今後検討していかなければならないと考えている。
産業振興部長 門脇	
委員 3番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・今後というよりは、早急に考え方を整理して結論を出す方が、町にとっていいと思う。 ・1つ目は、表の見方だが、中山間補助金と農協負担金額は研修牧場側からすると収入になるのか。 ・2つ目は、牧草作業について、一部コントラ利用と明記し、すでに着手しているという説明だったが、経営の負担軽減にどう結びついているのか検証は。 ・3つ目は、研修内容の見直しを行い、研修施設として研修生を確保しやすい体制を構築すると明記しているが、研修内容の見直しがどういうふうに研修生確保に結びつくと考えているのか。
委員 13番 中村	
農政課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ目のにつきましては、研修牧場の中で事業外収入となっている。 ・2つ目のコントラの一部委託等につきましては、全てをコントラに委託しているということではございません。検証につきましては、全てを自分達で行う場合は器械更新等に経費がかかる場合があるので、そういうところも一部コントラに委託することで、負担軽減と考えている。 具体的な検証については、現在協議中のため、結果が出たら報告する。 ・3点目については、研修生のニーズが多い放牧酪農のコマ数を増やしている。これにより、研修生の確保につながっているという検証はなかなかできていないところだが、今後募集等行ったときに、研修生の確保につながると考えている。
委員 13番 中村	
農政課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・既に事業外収入を得ている上で、新たに資金を補助するという考え方でいいか。 ・コントラの利用について否定するつもりはないが、研修牧場であるということから、委託をどれくらい許容すればいいのか難しいのではないか。 その部分が研修内容から削られていくとしたら、それはいかなものか。 ・基本的には、プラス補助金ということで考えている。 ・コントラに全委託については検証している。 研修機能を持たせながら、一部コントラ委託を考えている。また、全委託しても、他の牧場での研修など、体制の構築を考えていく。
産業振興部長 門脇	
委員 13番 中村	<ul style="list-style-type: none"> ・コントラについて、補足説明する。 コントラ委託については一部実施しているが、作業機械の調子が悪く、購入するにはかなり高額なため、現在の経営状況では不可能である。 一部作業をコントラに委託することで、経費削減していくということです。 ・今後の経緯については、その都度論議したい。 研修生の確保は難しいとは思いますが、現在もフェア等を利用しているが、今後、活動範囲を広げる考えはあるか。機会は多い方がいい。
農政課長 小野	
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修生確保は、フェア及び学校訪問を中心に行ってきた。 学校訪問については、何校かが毎年酪農体験に来てもらえるようになった。 今後は、企業訪問等も含めて拡充を図っていきたい。 また、4月から農政課に酪農の協力隊が来ている。 4月から研修牧場に住みながら、研修牧場の仕事をしている。 現状は月2回程度、役場に来て担い手の募集やSNS等で情報発信業務もやってもらう。

令和3年第4回産業建設常任委員会 要点記録

委員	3番	田村	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間とJAの補助金は、事業外収入ということだが、どのような独自事業を実施しているのか。
農政課長		小野	
委員	3番	田村	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に研修牧場は、生乳生産、担い手研修部門の2点。 ・事業外収入はその2点以外のことをやっての収入ではないか。
農政課長		小野	
委員	3番	田村	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間の牧場部門として1千万を事業外収入、担い手研修部門については、先程事業外収入と言ってしまいましたが、特別利益ということで3千万と7百万を収入している。一部補足させていただく。
委員	4番	小椋	
農政課長		小野	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。 ・規模縮小に伴う乳量の減少による乳業興社への影響は。 ・系統出荷を検討したことはあるか ・乳業興社への影響も分析中、影響額をどのようなフォローが必要か検討していく。 ・今後検討する可能性はあるが、農業生産法人の資格を持っていないため系統出荷できない事情があり非常に安くなる。そこをカバーするための乳業興社への出荷だったが、今後両社の経営バランスを見ながら検討していく。
委員長	8番	松壽	
委員長	8番	松壽	<p>質疑なし。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策について（資料により説明）</p>
商工観光課主査		武田	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請期間を延長したことによる予算はどうなっているか。 ・令和2年度の繰り越し予算により執行。 3月臨時会で議決いただいている。 ・対象店舗数と申請店舗数の差は、申請していないということでしょうか。 ・飛沫感染等対策補助金は、申請期限内なので集計値である。 今後、申請の可能性もある。 経営持続化支援金については、売上額の減少が少なく対象外店舗もある。 ・飛沫感染対策補助金を4月まで伸ばしているが、一部ジャンルの店舗で利用が進んでいないように見受けられる。 商工会と店舗への指導、働きかけなどは協議しているか。 ・見回りなどは行っていない。新しい生活様式では必須と言える対策だが、まずは店舗が自腹を切って、その後支援という形で二の足を踏んでいるところもあると見ている。 ・商工会などにも働きかけの協力はしてもらっている。 ・最初に自腹を切るが、金融機関に一時借入などの短期借入の働きかけなどは。 国の補助メニューも使えそうなのがあるが、申請事務の難易度は高い。 商工会などと連携して支援できないか。 ・金融機関への働きかけはしていない。 申請事務については、商工会と相談しながらサポート体制を検討する。
委員	3番	田村	
商工観光課主査		武田	
委員	13番	中村	<p>質疑なし。</p> <p>(3) ふるさと交流館の運営について（口頭報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月定例会以降の動きについて報告 当初3月25日営業終了、3月31日引き渡し予定だったが、作業の遅れにより4月9日に施設の明渡し完了。 残る事務手続きは、下半期分のコロナ禍に伴う減収分の補填。 会計年度任用職員を2名雇用し、業務委託は別海観光開発公社。 現在は、男性サウナ修繕、特別清掃等の実施。 再開は、5月15日の予定で、確定次第HPや新聞で周知予定。
委員	12番	松原	
商工観光課課長		田畑	
委員	4番	小椋	<p>質疑なし。</p>
商工観光課課長		田畑	
委員長	8番	松壽	<p>質疑なし。</p>
委員長	8番	松壽	
商工観光課課長		岩口	

令和3年第4回産業建設常任委員会 要点記録

委員長	8番	松壽	質疑
委員	12番	松原	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営には、総勢何人必要なのか。 ・営業1日6人必要。2交代制で常時3人が常駐となる。
商工観光課課長		岩口	
			休日確保を考えると、総勢8人が必要となる。
委員	12番	松原	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴以外の事業展開は。 ・再開は入浴のみ。
商工観光課課長		岩口	
委員長	8番	松壽	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの補填額は。 ・940万。
商工観光課課長		岩口	
委員長	8番	松壽	質疑なし。
委員長	8番	松壽	その他
委員長	8番	松壽	(1) 中山間地域等直接支払制度の状況について(口頭報告)
農政課主幹		上田	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に会計検査が入り、制度の運用が一部変更となった。 担い手確保の重点、リーダーの割合、所得制限、など。 詳細な説明会が全道レベルで開催され、現在は質疑応答のやりとり。 今後、サブ集落での会議を行い、全体会議となる。 正式な確定はされていないので継続説明を行う。
委員長	8番	松壽	質疑なし。
委員長	8番	松壽	産業振興部 11:06 終了 休憩
委員長	8番	松壽	11:23再開 委員長挨拶
建設水道部長		伊藤	【建設水道部所管事務調査】
委員長	8番	松壽	挨拶及び人事異動に伴う職員紹介、概要説明
委員長	8番	松壽	議事2 その他
管理課長		松田	(2) 令和2年度除雪作業実績について(資料により説明)
委員長	8番	松壽	質疑
委員長	8番	松壽	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪により破損した縁石等の補修は。 ・道路パトロールによる状況確認後、できる限り早急に対応。
管理課長		松田	質疑なし。
委員長	8番	松壽	建設水道部 11:30 終了 休憩
委員長	8番	松壽	11:35 再開 委員長挨拶
農業委員会事務局長		内山	【農業委員会所管事務調査】
委員長	8番	松壽	挨拶及び人事異動に伴う職員紹介、概要説明
委員長	8番	松壽	議事2 その他
農業委員会事務局長		内山	(3) 別海町農業委員会の概要について(資料により説明)
委員長	8番	松壽	質疑
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> ・家族経営協定締結状況について、未締結はどうなってるか。 締結推進に関しての考え方は。
農業委員会主幹		たも木	<ul style="list-style-type: none"> ・農家法人化は締結対象にならない。 それ以外は加入していない。 締結推進については、農業者年金の加入に締結が要件となっているため、加入希望の場合は推進しているが、それ以外は進めていない。

令和3年第4回産業建設常任委員会 要点記録

委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の戸数は。 ・令和3年3月31日現在で、147戸。 ・交換分合が行われない理由は。 ・平成25年度を最後に、必要な地区がないため。
農業委員会主査		山下	
委員	13番	中村	
農業委員会主幹		たも木	
委員長	8番	松壽	質疑なし
委員長	8番	松壽	閉会挨拶
委員長	8番	松壽	11:46 閉会